

# ナチュラルチーズ製造に関するアンケート結果について

令和3(2021)年2月5日

畜産酪農研究センター

今後センターにてチーズ製造に関する研修等を実施するに当たり、県内酪農家のチーズ製造に対する意向を確認するためアンケートを実施したが、その結果は下記のとおりであった。

## 記

### 1 アンケート回収率

県内酪農家 590 戸(酪農協聞き取りによる)中 245 戸(回答率 41.5%)から回答があった。

### 2 経営主の年代及び規模について

回答した酪農家の地域、年代並びに規模の分布は図1、図2並びに図3のとおりである。

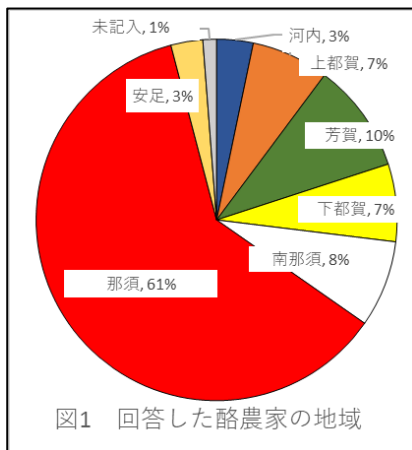


図1 回答した酪農家の地域

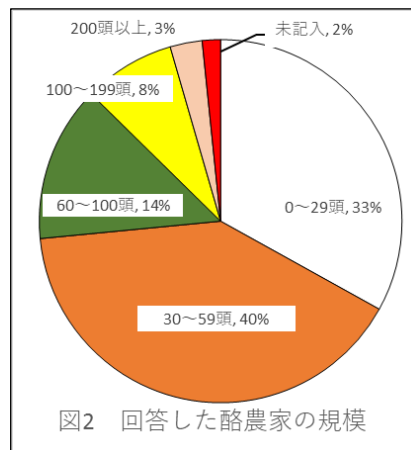


図2 回答した酪農家の規模

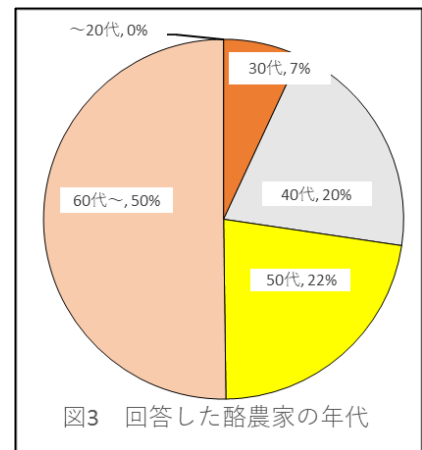


図3 回答した酪農家の年代

### 3 ナチュラルチーズ製造について

回答があった酪農家のうち、3戸(0.5%)から製造していると回答があった。

製造していない酪農家のうち、経営者もしくは配偶者等のどちらかが関心があると回答した酪農家は46戸(全体の18.8%)であった。

なお、関心があると回答した酪農家の地域、規模並びに年代を図4、5並びに6に示す。

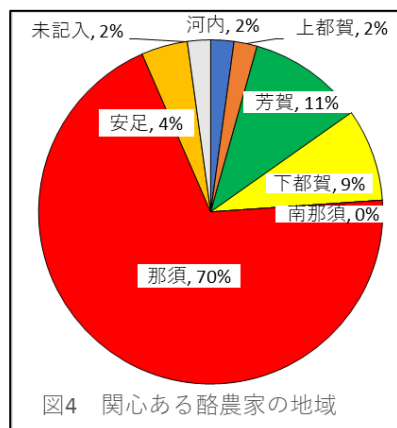


図4 関心ある酪農家の地域

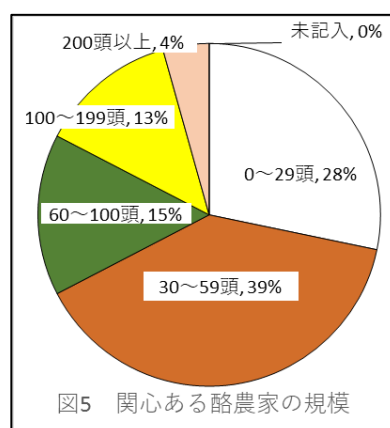


図5 関心ある酪農家の規模

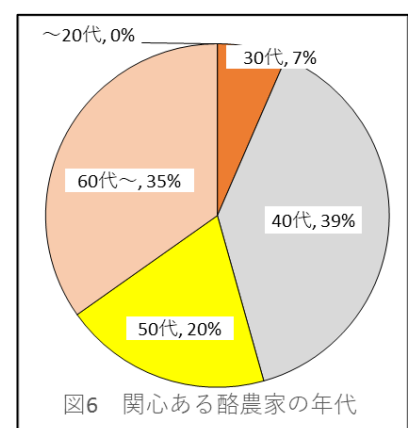


図6 関心ある酪農家の年代

関心ある酪農家は那須管内に多いが、規模に差は見られない。年代は40代で多い傾向にあった。

#### 4 チーズ製造に関する関心について

関心がある酪農家の内訳を表1に示す。

経営主及び配偶者等の両者が関心ありと回答した酪農家が15戸あったため、以後はそれらを別の意見として集計した(延べ61名)。

関心ありと回答した酪農家の関心の程度を表2に示す。

なお、将来的に工房をやりたいと回答した中で経営主と後継者が同意見の酪農家が3戸あった。

表1 関心がある酪農家の内訳

内 訳	人数(割合)	
経営主のみ	12戸	( 26%)
配偶者もしくは後継者	19戸	( 41%)
経営主及び配偶者等の両者	15戸	( 33%)
	46戸	( 100%)

表2 関心の程度

関心の程度	人数(割合)	
将来的に工房をやりたい(販売も視野)	11名	( 18%)
自家産生乳で製造したい(自家消費)	27名	( 44%)
チーズの見識を広めたい	20名	( 33%)
未記入	3名	( 5%)
合計	61名	( 100%)

希望する研修の形態を表3に示す。57%が1日程度の無料の研修を希望している。

その他の意見としてはセンターまで遠いため近隣での研修開催を希望する、将来的にチーズ工房に就職したいという意見もあった。

希望する受講料を表4に示す。酪農家の半数が5,000円未満の受講料を希望している。

このほか、センターへの要望としては、酪農協と連携してチーズ製造を推進して欲しい(酪農協のチーズ製造への理解促進)、チーズ製造講習を動画で情報提供して欲しいなどの要望があった。

また、今後センターでナチュラルチーズに関する研修を開催する場合に通知を希望する酪農家は15戸であった。

表3 希望する研修の形態

研修の形態	人数(割合)	
1日程度の無料の研修	35名	( 57%)
有料でも良いから数日の本格的な研修	12名	( 20%)
既に受講済み	5名	( 8%)
その他	4名	( 8%)
未記入	5名	( 7%)
合計	61名	( 100%)

表4 希望する受講料

研修の形態	人数(割合)	
5,000円未満	6名	( 50%)
5,000～10,000円	2名	( 17%)
10,000～30,000円	1名	( 8%)
未記入	3名	( 25%)
合計	12名	( 100%)

#### 5 まとめ

アンケートの結果、チーズ製造研修を希望する酪農家が少なからずいることがわかった(46戸)。

希望者の中には将来的に工房をやりたいという酪農家もいることがわかった(8戸)。

研修は1日程度(無料)を希望する酪農家が多く(57%)、一部で本格的な研修を希望している(20%)。

#### 6 今後の対応

今後、センターでは、今回のアンケートで通知希望があった酪農家を中心に基礎から応用までの研修を段階的に実施する。

その他、県南等への講師派遣対応や、本格的な研修を希望する酪農家への県内チーズ工房の紹介などにより県内でのナチュラルチーズ製造技術の普及を図る。

また、一方で、センターの本業である試験研究業務では、特色あるナチュラルチーズ製造技術の開発により本県ナチュラルチーズのブランド化を推進して行く。